

バグダッド 日誌 (4月22日)

## ○の活躍

は、セイサー・エア・ベース(バグダッド国際空港・軍用空港)のサージャント・メイジャー(最前任曹長)の要請により、日本語に興味のある隊員5名に対して日本語の授業を実施した。三沢・沖縄で勤務したことのある隊員もあり、「日本に対する関心が高く、日本に好印象をもっていている隊員ばかりだった。」と初授業の感想を述べていた。今後これがきっかけで更に日本に対する良い印象を持ってくれることを期待している。

はサージャント・メイジャー繋がりにより、人間関係を張り巡らしている。先日のサージャント・メイジャー会議におけるジャパン・ブリーフィングという「立技」から、今回の日本語教育のように草の根的な「寝技」で、日本を多国籍軍の下士官にアピールしている。

██████とパレス(多国籍軍司令部)のゲートを通る時は、米陸軍の警衛は、「██████のついで」に私にも最敬礼してくれる。それ程、サージャント・メイジャーのステイタスは高い。

目頃ひかえめで謙虚な[ ]は、ここキャンプ・ヴィクトリーでは、最も有名な日本人かもしれない。



○  R&R終了

昨日夕方遅く、[ ]がR&Rを終了しバグダッドに戻った。[ ]不在間は、ナイト・シフトの[ ]がデイ・シフト分をフォロー（夜9時～昼15時まで）していたため[ ]の負担も少し減ると思う。スタッフLO（多国籍軍司令部・情報部幕僚）のR&Rは終了し、通常の勤務態勢に戻ることができる。

3ヶ月前の[ ]は陸上部隊装備等の分析等でもかなりストレスを感じていたと思うが、最近はずっかり慣れ、海・陸のスペシャリストとなり制服が紫色(紫は統合の象徴)に見える。またバグダッド連絡班内の幕僚長としての役割を実施して、私の暴走を押し止めてくれている。

が再戦闘加入し、バグダッド連絡班はますます「元気いっぱい」である。



バスラLO日々業務報告(4月22日1900)



区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED] [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE) の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 指揮官会議調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 指揮官会議調整 (4) 空路輸送等調整
5 その他(備考)	* R&R [REDACTED]